

令和7年度事業報告

自:令和7年4月1日 至:令和8年3月31日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会 (一般来聴公募)

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。また地区事情に合わせて新指導者の研修に取り組んだ。

① 2025 全国吟詠大会 in 大阪

出演者は全国より推薦された師範代以上の指導者で、広く一般の方々に古典芸能としての吟詠をさまざまな形でお聞きいただき、吟詠普及に努めた。

また、幼少年・青年層の育成の為に発表の場を作り、吟詠の普及継承を図った。

・令和7年10月26日(日) 大東市立総合文化センター(サーティホール)

693人参加(内一般会員他100人)

② 新春吟詠大会

新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に懇親を深めた。

・令和8年1月12日(月・祝) 都ホテル尼崎

170人参加(内一般会員他25人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会 (一般来聴公募)

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂いた。

九州地区大会 令和7年6月22日(日) 90人参加(内一般会員他25人)

岡山地区大会 令和7年8月17日(日) 60人参加(内一般会員他20人)

兵庫地区大会 令和7年9月23日(祝) 60人参加(内一般会員他10人)

四国地区大会 令和8年2月15日(日) 60人参加(内一般会員他25人)

東海地区大会 令和8年2月22日(日) 140人参加(内一般会員他40人)

京滋地区大会 令和8年2月22日(日) 80人参加(内一般会員他27人)

西中国地区大会 令和8年3月15日(日) 160人参加(内一般会員他51人)

(2) 周年記念大会

・各公認団体等の記念大会への後援を行った。

・令和7年5月6日 大阪地区連合会創立70周年記念大会

・令和7年10月22日 滋賀地区連合会創立60周年記念大会

・令和7年11月2日 広島連合創立70周年記念吟詠大会

・令和7年11月16日 耀芳会設立15周年記念大会

- ・令和7年11月30日 鷺照吟詠会創立70周年記念大会
- ・令和8年2月1日 鷺声吟詠会創立50周年記念大会
- ・令和8年2月22日 清峰会創立55周年記念吟詠大会

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する活動を行った。
 - ・小中学校での課外授業への積極的参加
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催
 - ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設、地域公民館活動に於いて吟詠普及活動を行った。
- ③ 図書館、学校などへの吟詠資料提供を行った。
 - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「構成吟のDVD」の提供
- ④ 一般市民対象の公開講座・体験教室を開催した。
- ⑤ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的参加を図った。
- ⑥ 路上ライブなどへ積極的に参加した。

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

華洲会・快川吟詠会・広島鷺夕会・鷺照吟詠会等の吟詠普及活動に対し、規約に則り助成を行った。

(5) 全国青年部大会事業

青年部主導で青年部員吟詠、幼少年吟詠、役員吟詠、他流優秀吟者吟詠、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承を図る。当大会は隔年開催のため、令和7年度は次年度開催の準備を行った。

(6) 電磁的広報、機関誌発行

- ① 吟詠普及の為に、YouTube（ユーチューブ）に於いて動画配信を推進。
YouTube（ユーチューブ）を通じて吟詠普及推進活動の実施計画をたて、継続して不特定多数の人に詩吟をアピールする取組みを行った。
- ② ホームページでの吟詠普及の取組みを行った。
 - ・教場紹介検索コーナーのさらなる充実の取組みを行った。
 - ・漢詩紹介の拡充のために「悠久の名詩選Ⅲ」の掲載を行った。
 - ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動の紹介を行った。
- ③ 機関誌「吟詩日本」を発行。（一般販売）
 - ・時代に即応できるよう改善を行った。
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載した。
 - ・「吟詩日本」（209号、210号、211号、212号）の発行した。

(7) 教本発行（一般販売）

- ① 教本冊子頒布
 - ・新教本初級編他（既刊）の頒布を行った。
 - ・新教本「和歌・俳句・新体詩(近代詩)縮刷本」（既刊）の頒布を行った。
- ② 新教本「四句詩」（単本）の頒布を行った。

(8) 海外移動教室の開講

国際情勢により「中国漢詩紀行」の計画は見送った。

(9) 国内移動教室の開講

①大阪実業団詩吟連盟と総本部の共同企画で、令和7年10月に「しまなみ海道 漢詩紀行」を開講した。

②承認会白鷺連合会が令和7年7月18日「宮島を知り尽くそう」を開講した。

(10) 災害復興支援活動の実施

「令和6年能登半島地震災害義援金」の募集活動継続取組みとしてイベント開催毎に呼掛けを行った。

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

① 全国新人中間層競吟大会 大東市立市民会館 (キラリエホール)

令和7年11月9日(日) 参加者 360人 出吟者 217人

② 全国指導者級吟士権者決定吟詩大会 高槻城公園芸術文化劇場北館 (高槻) 尚、準師範・師範代競吟大会は全国指導者級吟士権者決定吟詩大会に含める。

令和7年12月14日(日) 参加者 560人 出吟者 353人

③ 全国競吟大会予選大会

- ・大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会・岡山地区大会
- ・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
- ・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段審査、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき昇段審査を行い、合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し、合格者に指導者としての資格を授与した。

① 昇段審査は内部規定に基づき、一次審査は公認団体毎に実施。二次審査は総本部において実施し会長が認定した。

令和7年7月1日付及び令和8年1月1日付で昇段免許の授与した。

② 地方昇格試験を実施した。(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 令和7年6月22日(日)

広島試験場 (広島) 令和7年6月22日(日)

名古屋試験場 令和7年6月22日(日)

③ 総本部試験場で昇格試験を実施した。(師範・準師範・師範代)

令和7年7月20日(日)

(昇格試験に合格したものには、9月1日付で東明祭(9月14日)において免許状を授与)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

【公益目的 1 の詩歌吟詠の普及推進事業】に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行う。

- ・吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会 エーリック(尼崎)
令和 7 年 6 月 15 日(日) 120 人参加(内一般会員他 25 人)
- ・吟詠普及推進研修会九州地区大会
令和 7 年 6 月 22 日(日) 90 人参加(内一般会員他 25 人)
- ・吟詠普及推進研修会岡山地区大会
令和 7 年 8 月 17 日(日) 60 人参加(内一般会員他 20 人)
- ・吟詠普及推進研修会兵庫地区大会
令和 7 年 9 月 23 日(祝) 60 人参加(内一般会員他 10 人)
- ・吟詠普及推進研修会四国地区大会
令和 8 年 2 月 15 日(日) 60 人参加(内一般会員他 25 人)
- ・吟詠普及推進研修会東海地区大会
令和 8 年 2 月 22 日(日) 140 人参加(内一般会員他 40 人)
- ・吟詠普及推進研修会京滋地区大会
令和 8 年 2 月 22 日(日) 80 人参加(内一般会員他 27 人)
- ・吟詠普及推進研修会西中国地区大会
令和 8 年 3 月 15 日(日) 160 人参加(内一般会員他 51 人)

② 指導者研修会

- 1) 推薦師範講習会 令和 7 年 6 月 15 日(日) エーリック(尼崎)
120 人参加(内一般会員他 25 人)
- 2) 吟詠研修会 令和 7 年 9 月 14 日(日) 大東市立市民会館
190 人参加(内一般会員他 40 人)
- 3) 昇格課題詩研修会(令和 8 年度 師範・準師範・師範代昇格試験課題詩)
令和 7 年 11 月 16 日(日) 総本部
(長詩 4 題・和歌 3 題・律詩 6 題・絶句 8 題)
90 人参加(内一般会員他 20 人)

③ 吟道大学講座の開講

- ・令和 8 年 2 月 7 日(土)～8 日(日) パナソニックリゾート大阪
- ・漢詩、和歌、俳句、新体詩の吟詠技能・発声技能研修、中国・日本の歴史講座の研修で指導者の技能向上を図った。
81 人参加(内一般会員他 10 人)

④ 「東明未来塾」特別講座の開設

漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理、指導者の心構え、組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修、中国・日本の歴史講座の研修で指導者の養成を図った。

令和 7 年度は今後の在り方を検討するため特別講座として本部において開催した。

- ・開催回数 年 2 回
令和 7 年 11 月 29 日(土) 令和 8 年 1 月 31 日(土)
- ・受講者数 36 人

⑤ 作詩講座(一般公募) 総本部会議室

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図った。

- ・毎月第 2 金曜日 午後 2 時～4 時

年 12 回（前期、後期に分けて）参加者数 延べ 197 人

⑥ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上を図った。

・年 4 回

応募作品数 105 作品

⑦ 漢詩鑑賞講座（一般公募）

総本部会議室

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景など広く一般の方にも漢詩を広めた。

・隔月開催（年 6 回）

午後 2 時～4 時 30 分

参加者数 延べ 210 人

（4）研究会

- ・指導局指導部会 ・指導局教養部会 ・指導局教本作成部会
- ・秀詠グループ吟詠研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。また、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術探求などの研究を行った。

（5）部会・委員会

- ・広報局広報部・広報局ホームページ委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための広報活動を行った。

- ・広報局企画部

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言した。

- ・青年部

不特定多数の人及び青年層に対して広く吟詠普及活動を行った。

- ・作詩添削委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置した。

2. 収益事業

収益 1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD 等を頒布した。

（1）参考図書販売

- ・誰にでもできる漢詩の作り方（太刀掛呂山著）
- ・作詩便覧 宮崎東明編
- ・作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
- 中国編 関西吟詩文化協会発行

（2）CD の頒布

- ・和漢名詩選（一～九） 既存 CD の頒布
- （尚、二は廃盤）
- ・吟詠歌謡 既存 CD の頒布

- ・愛連課題詩「令和 7～10 年」 既存 CD の頒布
 - ・令和 7 年度本部指導者研修会収録編 新作 CD の頒布
 - ・D・3 7 号～11 号の新体詩伴奏 水 4～7 本 新作 CD の頒布
- DVD の頒布
- ・「ひとすじの道を」 既存 DVD の頒布
 - ・「昔ばなし 一寸法師」他 既存 DVD の頒布

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を
交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段審査に合格した者に対し免状を授与した。
令和 7 年 7 月 1 日付及び令和 8 年 1 月 1 日付

② 昇格資格者への免状の授与(師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与した。
令和 7 年 9 月 1 日付

③ 特別昇格(上師範・高師範・総師範)

推薦による昇格申請に従って審査し、特別昇格の称号を授与した。
令和 7 年 9 月 2 日付

(2) 記章の販売

「師範・準師範・師範代・一般会員」バッジを販売した。

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業を行った。

(1) 東明祭の開催と功労者顕彰(令和 7 年 9 月 14 日)

① 会員増員表彰(個人、会、支部) 令和 7 年 9 月 1 日付

② 慶寿祝・成人祝 令和 7 年 7 月 1 日付
及び令和 8 年 1 月 1 日付

③ 功労者等顕彰の実施 令和 7 年 9 月 1 日付

細則第 1 号 24 条の顕彰基準に定める称号を授与。

吟功章 (上師範、高師範、総師範)

特別吟功章 (宗 範)

特別功労賞 (宗 帥)

4. その他の事業(法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業。

(1) 定時総会の開催 令和 7 年 6 月 7 日(土) エーリック(尼崎市)

(2) 各種会議

① 総会

- ② 役員会（正副会長会・理事会）
- ③ 元老・相談役・参与・代議員会議
- ④ 局部会（指導局・管理局・広報局）
- ⑤ 懇談会等
 - ・青年部員懇談会
 - ・都府県連合会代表者会議
- ⑥ 東明未来塾運営委員会
- ⑦ 特別審議委員会
- ⑧ 明日の関西吟詩のあり方を考えるビジョン委員会
- ⑨ その他特別検討委員会